

車椅子点検 初任者講習

～修理や整備を依頼すべきか否かの判断をするために～



根拠に基づいた知識と作業手順を学んで、
丁寧に行えば、点検は誰でも実施できます。

整備や修理を自身で実施するのは、ハードルが
高いという想いを抱いている人におすすめです。

不良箇所を発見して、事故やひやりはっとの発生
を防ぎましょう。

このような方におすすめ！

- ・備品の車椅子の不具合が気になる。
- ・タイヤの空気が少ない気がするけど、
空気の正しい入れ方・適正空気量が分からない。
- ・古い車椅子を使っているけれど、安全性に問題が
ないかの確認できるようになりたい。

日程

車いす安全整備士サイトでご確認ください。

時間

10:00～16:30

会場

車いす安全整備士サイトでご確認ください。

受講料

22,000 円（税込）＋（点検工具セット費※希望者のみ）

お申込・お問い合わせ：車いす安全整備士養成講座運営事務局

会場

車いす安全整備士サイトでご確認ください。

MAIL

seibi@jaspec.jp

URL

<https://anzen-seibishi.org/>

車椅子点検初任者講習
車いす安全整備士養成講座
詳細・申込はこちら→



誰にでもできる点検と整備 参考資料

1. フットサポート

(1) フットサポート（貫通式）の仕組み



パイプに直接穴が空いており、そこにボルトを通して固定している。
ボルトの締付けが緩いと、プレートが上がっても落ちてくる。

(2) フットサポート（ウェッジ式）の高さ調整

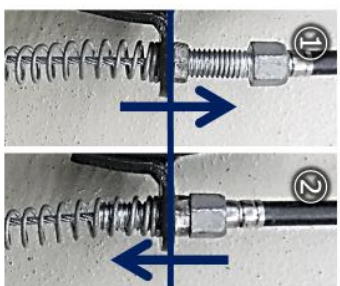
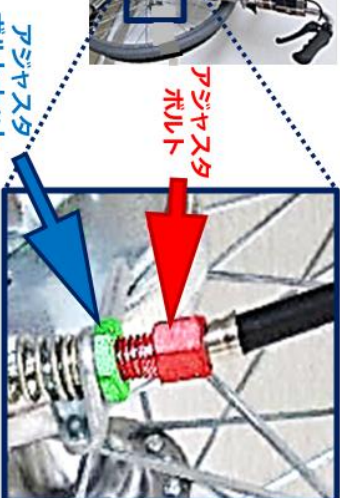


フットサポート裏側にあるボルトを緩めると、高さの調節が可能になる。
調節後はしっかりと締め、固定する。



2. 制動用ブレーキ（介助用ブレーキ）の微調整

～アジャスタボルトによる微調整



ボルトを上上げるとブレーキが強くなり（写真①）、反対にボルトを下に下げるとブレーキが弱くなる（写真②）。
※調整は下のナットを緩めてから行い、調整後は必ずナットを締める

3. タイヤと駐車用ブレーキ（空気を入れる重要性）

(1) タイヤの劣化見本



劣化品

新品



硬化→破損



ひび割れ

(2) プランジヤ（虫ゴム必要タイヤ・虫ゴム不要タイヤ）について

① 虫ゴム必要タイヤ



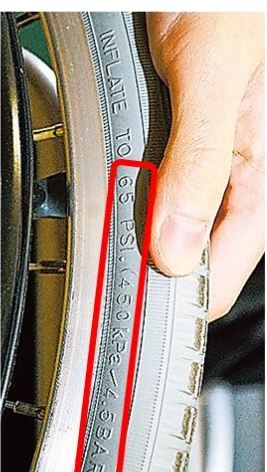
破損時交換が必要

② 虫ゴム不要タイヤ（スーパervalブ）



見た目での劣化確認ができない

(3) タイヤの空気入れ



タイヤ側面に記載されている適正空気圧（kpa、PSI等の圧力単位）を確認して入れる（写真左）。※1

確認するには写真右のような目盛り付きの空気入れが必要になる。※2

※1 メーカー取り扱い説明書に数値の記載がある場合は、それに準じてください。
※2 1000kPa(or150PSI)程度まで入る高圧タイヤ用がおすすめ